

【事業者向け】放課後等デイサービス自己評価表

公表年月：2025年3月  
事業所名：I Le 埼玉 ファーム

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。		○		設備基準を満たしているものの、利用者の特性上車イス・パギーの利用者が多い為、スペースに余裕は少ないことから、活動内容や物の配置に配慮するなど工夫することで、スペースを確保しております。
	② 職員の配置数は適切であるか。		○		配置基準を遵守しているものの、利用者の特性や利用人数によっては、配置数に余裕が無いと感じるところがある為、職員の増員を考えております。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	○			車両やトイレ等、車イスの使用を想定した設備を備えております。出入り口の段差については、スロープを使用する等の配慮がなされております。
業務改善	④ 業務改善を進めるための目標設定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	○			毎月ミーティングを実施し、支援の振り返りや改善についての話し合いを行っております。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	○			今回実施したアンケート「保護者によるサービス評価表」を元に、スタッフ全員で支援の振り返りを行いました。保護者からのご意見や評価を受けて、業務の改善に向けた話し合いを行っております。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	○			ホームページにて公表しております。 ( <a href="https://www.lankuuno.jp/">https://www.lankuuno.jp/</a> )
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			○	今後必要に応じて法人として導入を検討して参ります。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	○			年間計画に基づき、研修や訓練等を定期的に行っております。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、発達支援計画を作成しているか。	○			アセスメントやモニタリング、保護者面談等を通してニーズの分析を行い、子どもや保護者の想いに寄り添った支援を心掛け、発達支援計画を作成しております。またスタッフ間の共通理解を深める為に、一般的に用いられているアセスメントシート（身体能力、知的理解面の評価等）の導入も検討して参ります。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。		○		
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			毎月のミーティングにおいて、スタッフ全員で課題活動やイベント内容等についての意見を出し合い、話し合いをしております。今後も日々の活動に変化が付けられるように工夫して参ります。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか。	○			
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで発達支援計画を作成しているか。	○			時間的な事情により支援終了後の打ち合わせが難しい為、その日行われた支援の振り返りや必要な情報は業務日誌にて毎日記録し共有しております。必要な情報は翌日の始業時ミーティングや、月次ミーティングにて確認・共有をしております。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	○			
⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○			
適切な支援の提供	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			毎日欠かさず業務日誌をつけることで、その日行われた支援の振り返りや情報の共有を行っております。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	○			定期的にモニタリングを実施しております。計画書の更新時期にはスタッフ全体でミーティングを行い、該当児童の支援についての振り返りを行っております。
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っているか。	○			

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	㉔ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	○			
	㉕ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	○			
	㉖ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか。	○			訪問看護師を配置した上で、医師の指示書に基づき医療の提供を行っています。
	㉗ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	㉘ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			就学前のご利用施設と連携し、お互いの施設見学や情報共有等を行い、相互理解に努めています。また学校卒業後に関しては、担当の相談支援員を介しての情報共有を行っています。
	㉙ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。			○	
	㉚ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。			○	人員の事情により公共施設等への外部交流は出来ておりませんが、今後職員の増員が整い次第外部交流も検討して参ります。
	㉛ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○			医療的ケア児に関する協議会へは積極的に参加し、情報共有や地域との連携、勉強の機会としております。
	㉜ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			保護者面談や送迎の際のやり取りを通して情報共有を行うとともに、保護者のニーズや思いにも気付けるよう努めております。
	㉝ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか。	○			
保護者への説明責任等	㉞ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	㉟ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			
	㊱ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。			○	地域の交流センターをお借りし、保護者参加型のイベントを開催しております。お子さまと一緒にご参加いただき、保護者同士の交流の機会にもして頂ければと思っております。
	㊲ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	㊳ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			デイでのお子様のご様子を見ていただけるよう毎月の通信やSNSにて活動の様子を発信しております。 ※Instagramにて発信中 ( <a href="https://instagram.com/pinokkisugito/">https://instagram.com/pinokkisugito/</a> )
	㊴ 個人情報に十分注意しているか。	○			
	㊵ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	㊶ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。			○	地域住民を招待しての行事は開催出来ておりませんが、日々の関わりや活動の中で地域での認知向上に繋がるよう努めて参ります。
非常時等の対応	㊷ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。	○			
	㊸ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	㊹ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			虐待防止委員会を設置し、定期的又は適宜委員会を開催することで虐待防止に努めております。合わせて虐待防止にかかる研修を定期的実施しております。
	㊺ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、発達支援計画に記載しているか。	○			止むを得ず身体拘束を行う場合には、説明書を用いて事前に保護者への説明を行っています。あわせて発達支援計画書にも記載し、必要性をご理解いただいた上で実施しております。 (車椅子のベルト装着等)
	㊻ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	㊼ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	○			